



空母への改造が検討されている海自の「いずも」

来年度予算案
敵基地攻撃可能
巡航ミサイル導入
12.6 産経

自衛隊が導入を予定している、長距離攻撃ミサイル			
名称	射程	開発国	運用方法
JASSM-ER	900*メートル	米国	F15に搭載
LRASM	500*メートル	米国	F35に搭載
JSM	500*メートル	ノルウェー	F35に搭載
高速滑空弾 (研究前)	詳細不明	日本	地上から発射
新対艦誘導弾 (研究前)	詳細不明	日本	地上、艦艇、航空機から発射



「従来の延長線上ではない自衛力の強化に取り組む」
(安倍首相。1月4日の年頭会見で)

「通常兵器で攻撃を受けた場合も、核で反撃する」
(トランプ大統領。「核戦略見直し」の公表で)



「トランプ政権の核戦略見直しを高く評価する」
(河野外相。2月3日の談話で)



この大軍拡を許していいか？

長距離ミサイルと空母

安倍政権は2018年度予算に射程500kmの巡航ミサイルの購入を計上しました。さらに射程900kmの巡航ミサイルも導入予定です。遠く離れた公海上から、他国内にミサイルを撃ち込む軍事力を持つとしています。

さらに、海上自衛隊が持つ「いずも」を改造して空母にすることも検討されています。また、垂直離着陸ができる最新鋭のステルス戦闘機F35Bを数十機購入して、空母化する「いずも」に搭載しようとしています。

過去最大の5兆2千億円

国の借金は1千兆円を超え、労働者の賃金や年金や生活保護費が削られる一方、防衛予

算は過去最大の5兆2千億円となりました。これまで違憲とされてきた敵基地攻撃のためのミサイルや空母化に予算が組み、兵器開発や軍事研究に大企業や有名大学が競い合うように参加し始めています。「自衛」の名のもとに戦争に突き進んでいった歴史を二度とくり返してはなりません。

「避難訓練」拒否で戦争を阻もう

改憲と戦争を許さない、教え子を再び戦場に送らない——これが戦後の労働組合の最大のテーマであり、現実に改憲を阻んできました。私たちは、労働組合が「Jアラート訓練」を拒否すれば、改憲や戦争は阻止できると考えています。ぜひ一緒に闘いましょう！

命を守る訓練？ 戦争に協力させる訓練？



弾道ミサイルを想定した東京初の「避難訓練」 2018年1月22日 文京区



弾道ミサイルを想定した福岡市での「避難訓練」 2017年12月1日

やめやせよう！ 「Jアラート」避難訓練を

弾道ミサイル・武力攻撃を想定した

「戦争するな！9条変えるな！全国署名」をお願いします

とめよう戦争への道！百万人署名運動 東京都千代田区神田三崎町2-20-7-303 tel.fax.03-5211-5415

とめよう戦争への道！百万人署名運動
millions.blog.jp



1938年(昭和13年)に小学校で行われた「防空訓練」

戦前の「防空訓練」と同じだ

全国で「弾道ミサイル」「武力攻撃」を想定した「Jアラート訓練」が実施されています。しかしこれは、日頃行われている事故や災害を想定した避難訓練とは全く違います。

上の二つの写真を見てください。戦時中の小学生を対象にした「防空訓練」の様子です。今の「避難訓練」と同じではありませんか？

戦時中の「防空訓練」は、国民の命を守るためではなく、**国土防衛に国民を動員するため**でした。女性たちは、竹槍で敵国の兵隊や航空機を突く訓練までさせられました。

戦争動員の担い手になる？

「Jアラート訓練」の狙いは、「北朝鮮の脅威」や「国防意識」を国民に植え付けること



防空頭巾を被って地面に伏せる訓練 1943年の小学生

と、自治体や学校や鉄道などで働く労働者を戦争動員の担い手にしていくことではないでしょうか。かつて国民に「お国のために命を投げ出す」ことを迫ったのは、警察と産業報国会（労働組合が解散してつくられた戦争協力のための労働団体）でした（下の写真）。



福井市空襲(1944年7月19日)直後の「福井県産業報国会」と「福井警察署」による貼紙

一億防空の義務
防空監視隊令、従事扶助令
来る廿日から実施

傍観は立派な犯罪
国民一人々に責任

各行政機関は防空を急を正改

「国土防衛は国民の義務」と報じる戦時中の新聞記事



竹ヤリで敵国の兵隊と航空機を突く訓練までさせられた



武力攻撃やテロなどから身を守るために

②留意点

◎核爆発の場合

- 閃光や火球が発生した場合には、失明するおそれがあるので見ないでください。
- とっさに遮蔽物の陰に身を隠しましょう。近隣に建物があればその中へ避難しましょう。地下施設やコンクリート建物であればより安全です。
- 上着を頭から被り、口と鼻をハンカチで覆うなどにより、皮膚の露出をなるべく少なくしながら、爆発地点からなるべく遠く離れましょう。その際、風下を避けて風向きとなるべく垂直方向に避難しましょう。



上は、内閣官房が発行している『武力攻撃やテロなどから身を守るために』というパンフレットです。そこでは「武力攻撃」の想定とその対処方法が記されていますが、「核爆発の場合」は、「閃光や火球が発生した場合は目で見ないようにし、とっさに身を隠し、

口と鼻をハンカチで覆って、爆発地点から遠く離れてください」と指示しています。なんとこのインチキさでしょうか。核爆発は瞬時の大爆発です。閃光を見ないようにすることも、とっさに身を隠すこともできません。あきれてものも言えません。

インチキの極み！
「核爆発が起きたら目で見ないで」???

9条に「自衛隊」=戦争!

安倍首相は、トランプ大統領と一緒に戦争をおおっています。戦争の機運をつくりだす中で、憲法9条を変えようとしています。年内に改憲を発議し、来年には国民投票を実施すると言っています。

右の「安倍首相が加えたい」9条文案は、自民党の改憲草案(2012年発表)を元に考えてみました。9条に自衛隊を明記すれば、「戦力の不保持」「交戦権の否認」は否定され、戦争する憲法になります。



現行憲法の第9条

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、**国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。**

2 前項の目的を達するため、**陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。**

安倍首相が9条に加えたい条文?

第9条の2 我が国の平和と国民の安全を確保するため、内閣総理大臣を最高指揮官とする**自衛隊を保持する。**

2 **自衛隊**が任務を遂行する際は、法律の定めるところにより、国会の承認その他の統制に服する。また、**自衛隊**の組織及び機密の保持に関する事項は、法律で定める。

3 **自衛隊**は、第1項に規定する任務のための活動のほか、法律の定めるところにより、国際社会の平和と安全のために**国際的に協調して行われる活動**を行うことができる。